第 224 回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	1	氏名	比嘉　勝彦		予定時刻	午前 10 時頃
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1　県知事選挙及び市議会議員選挙について	⑴　令和８年９月 13 日執行の沖縄県知事選挙に係る以下の点について、多様な面から渡具知市長の所感を伺います。 ア　前回の投票率と比べて 3.7 ポイント増の 61.6％となりましたが、これまでの 75％から 80％台の投票率にはほど遠い結果となっています。とりわけ 2000 年代は 60％台で推移していますが、投票率を含めた今回の選挙の解析について イ　2015 年６月の法改正により選挙権年齢が 18 歳以上へ引き下げられ、若年層が政治へ参加する機会を広げ、民主主義の基盤を強化する重要な制度改革となりました。しかし、若年層の政治参加の向上へは反映されていないと思料しますが、その見解について	企画部長
	⑵　条例の改正に伴い、今回の名護市議会議員選挙から初めて選挙公報の配布が行われました。そこで、以下について伺います。 ア　選挙の公平さから全戸配布が基本となります。最終的に全戸配布が完了した正確な日時等について イ　選挙公報は公費で行われますが、選挙の収支にはどのように反映されますか。 ウ　諸行事等により一部の投票所が投票所入場券の記載名称とは異なっていましたが、どのように説明しますか。	選挙管理委員会事務局長
2　区や自治会加入率向上の施策について	⑴　本市における各区の人口及び世帯数から見る加入率の状況について伺います（資料提供願います）。	地域経済部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑵　これまで幾度かの定例会において区や自治会への加入率向上に向けた質問や提言等を行ってまいりましたが、いまだ改善されていません。そこで、以下について伺います。 ア　区や自治会等からの要望や要請への対処法について イ　地域コミュニティーがあって行政サービスの向上が図られるものと思料しますが、直接的に地域を支援する施策はありますか。	地域経済部長
3　　市民からの声として	⑴　公共施設利用料金について、これまで減免措置で利用できていた施設が目的外使用との理由で適用されず、定額徴収されたとの相談がありました。そこで、公共施設の減免措置の運用方法について伺います。	地域経済部長
	⑵　今年も11月7日、8日の両日に第38回ツール・ド・おきなわの開催が予定されています。秋の観光シーズンと重なり多いに盛り上がるものと歓迎します。そこで、以下について伺います。 ア　市内外で交通混雑などが想定されますが、具体的な対応について イ　観光客対策（特にインバウンド対策）について	地域経済部長
	⑶　最近、市道山田原線と県道71号線の交差点において交通事故が多発しており、信号機の設置を求める声が多くあります。早めの設置を望みますが、市の対応について伺います。	総務部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	2	氏名	比嘉　宏正		予定時刻	午前11時10分頃
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1　名護市スポーツ大使・文化大使制度の創設について	⑴　名護市は、これまでにプロスポーツ選手や力士をはじめ、文化・芸術など様々な分野で活躍する優れた人材を数多く輩出しています。こうした方々は市民の誇りであり、特に子供たちにとって夢や目標となる存在です。また、全国や世界で活躍する本市出身者がふるさと名護とのつながりを持ちながら、講演会やスポーツ教室、文化活動などを通じて子供たちへ経験や技術を伝えることは、人材育成や郷土愛の醸成に大きく寄与するものと考えます。そこで、以下について伺います。 ア　本市出身または本市ゆかりのスポーツ・文化・芸術分野で活躍する人材について、市はどのように認識しているか。 イ　これらの方々を市の魅力発信や子供たちの人材育成に活用することについて ウ　「名護市スポーツ大使」や「名護市文化大使」などの制度を創設し、市のＰＲ活動や青少年育成事業、各種イベント等で連携を図る考えはないか。 エ　スポーツ教室や文化講演会、学校訪問などを通じて、第一線で活躍する方々と子供たちが交流する機会を創出する考えはないか。	ア・イ・ウ 地域経済部長 エ　地域経済部長
2　市内公園における街灯について	⑴　市内の公園における街灯について、まだＬＥＤ化されていない街灯がある公園は幾つありますか。また、その本数を伺います。	建設部長
	⑵　現在点灯していない街灯や、漏電や配線の断線などの異常が確認されている街灯について、早急に修繕・改修を行うことはできませんか。	建設部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
3　ハザードマップ及び洪水災害時の避難体制について	⑴　洪水浸水想定区域の指定について、沖縄県は県管理河川における洪水浸水想定区域の指定を進めており、市町村にはその区域を踏まえた洪水ハザードマップの作成・周知が求められています。そこで、市内に洪水浸水想定区域に指定されている河川は幾つあるか伺います。	総務部長
	⑵　本市が作成しているハザードマップと沖縄県が公表している洪水浸水想定区域図等について、区域や浸水想定などに相違はあるのか伺います。また、最新情報を市民へどのように周知しているのか伺います。	総務部長
	⑶　高齢者施設や障害者施設等において、災害発生時に迅速かつ安全な避難ができるよう、本市と施設が連携した避難訓練や防災訓練を実施しているか伺います。	総務部長
	⑷　洪水等の災害から市民の生命を守るため、避難所の確保、避難経路の周知、要配慮者への支援など、本市として避難体制の強化にどのように取り組んでいるのか伺います。	総務部長
	⑸　洪水等の災害が発生するおそれがある場合、避難指示等の避難情報をどのような基準に基づき発令しているのか伺います。また、河川の水位や気象情報等をどのように把握し、避難情報の発令につなげているのか伺います。	総務部長
4　中山地区における水の枯渇問題について	⑴　令和８年４月に提出された「中山地区における地下水・湧水および自然水循環の変化に関する調査・対策要望書」及び６月定例会における一般質問とその答弁を踏まえ、その後の本市の対応及び庁内協議の進捗について伺います。	地域経済部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑵　沖縄県、今帰仁村、事業者及び地域住民との協議の進捗状況並びに今後の水資源保全に向けた具体的な対策について伺います。	地域経済部長
5　　地域からの声について	⑴　道路照明について、「夜間は道路が暗く、不安で怖い」との相談が多く寄せられています。夜間の安全確保や防犯の観点からも、道路照明の整備は重要だと考えます。そこで、下記の箇所に係る道路照明の設置や改善について、市当局の考えを伺います。 ア　屋部勝山線の起点から約200m付近 イ　屋部5号線における屋部公民館入口付近 ウ　国道449号沿いの住宅がある箇所	建設部長
	⑵　国道449号と交差する市道屋部23号線の横断歩道が消えているため、国道からの車が減速せずに進入し、大変危険です。朝や夕方などに散歩やマラソンをする通行者が安全に横断できるよう、早期に対策できないか伺います。	総務部長
	⑶　公園遊具の安全管理及び整備について、屋部児童公園及び屋部川にじ公園では遊具の一部が長期間にわたり立入禁止柵やロープで囲われ、利用できない状態が続いています。長期間使用できない状態が続くことは、子供たちの遊び場の確保という観点からも課題であると考えます。そこで、以下について伺います。 ア　立入禁止となっている遊具の現在の状況と、いつまで使用できないのか。 イ　既存の遊具について、修理・修繕による対応はできないのか。 ウ　修理・修繕が困難な場合、遊具の更新は予定していないのか。 エ　今後の対応時期及び整備計画について	建設部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
6　西屋部川における勝見橋工事及び周辺護岸工事について	⑴　現在の工事の進捗状況について伺います。	建設部長
	⑵　工事を進める上で残されている課題と完成までのスケジュールについて伺います。	建設部長
	⑶　早期完成に向け、本市と沖縄県はどのように連携し、取り組んでいるのか伺います。	建設部長
7　豊年祭などの地域の伝統文化の保護・継承について	⑴　市内各地で行われている豊年祭において、その伝統衣装や太鼓、道具等の修繕・保存に対する支援について伺います。	地域経済部長
	⑵　豊年祭や伝統芸能を次世代へ継承していくため、後継者や担い手の育成に対する市の取組について伺います。	地域経済部長
	⑶　地域の伝統文化を子供たちに伝えるため、学校教育や地域活動と連携した取組について伺います。	地域経済部長
	⑷　各地域の豊年祭や伝統芸能、衣装、道具、歌、踊り等を記録・保存し、次世代へ継承するための取組について伺います。	地域経済部長 教育次長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	3	氏名	翁長　久美子	予定時刻	午後１時30分頃
質問方式		○	一括	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）
質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨			予定答弁者
１　21世紀の森公園における除草剤散布について		⑴　21世紀の森公園は、市民をはじめ多くの方々が日常的にウオーキングをしたり、親子連れやペットの散歩コースとしても利用されています。ところが、日中公園へ行った市民から防護マスクをした作業員が目の前で薬剤散布をしていたとの連絡がありました。21世紀の森公園等の清掃・管理は業務委託されていると思いますが、除草剤散布も市との契約の中に業務として含まれているのでしょうか。除草剤散布について、国においても公園などの人が頻繁に訪れる場所での使用は病害虫や雑草の発生を日常的に観測し、機械除草等の物理的防除により対応するよう最大限に努めることが示されています。そこで、以下についてお伺いします。 ア　除草剤散布を始めた年度について イ　年に何回除草剤を散布しているのか。これまでに散布した区域、面積について ウ　直近の除草剤散布実施日について エ　散布中及び散布直後は立入禁止区域を設けたのか。また、市民への周知方法について オ　除草剤を使用する必要があると判断した具体的な理由について カ　除草剤を使用する前に機械除草や人力での除草など、ほかの方法について検討はしたのか。 キ　使用した除草剤の品名や有効成分についてと、除草剤が人体やペットへ与える影響について ク　これまで市民からの問合せや苦情はなかったのか。			建設部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
2　　沖縄愛楽園将来構想について	⑴　平成21年３月に策定された「沖縄愛楽園将来構想」及び平成31年３月に策定された「国立療養所沖縄愛楽園土地等利活用基本計画」に基づき、これまで土地・施設等の利活用が検討されてきました。令和元年度にはサウンディング型市場調査を実施し、令和４年度のサウンディングでは７者から提案があり、宿泊施設、医療福祉施設、特別養護老人ホーム、ホスピス、障がい児とその家族のための施設、高等学校の設置などの具体的な提案がありました。そして、その結果について本市は「愛楽園や地域の意向を踏まえた事業者公募に向けて進めていく予定」としていましたが、将来構想及び土地等利活用基本計画について、掲げられた事業のうち実現したもの、実施中のもの、未着手のものと、それぞれの進捗についてお伺いします。 ア　医療・介護機能の地域開放について イ　ハンセン病への理解、啓発、交流について ウ　市民農園について エ　生きがいづくりについて オ　高齢者・障害者施設について カ　未利用地・施設の利活用について キ　長期滞在型健康保養施設について ク　民間事業者との連携について	市民部長
	⑵　構想策定から17年、土地等利活用基本計画策定から７年が経過していますが、いまだ実現に至っていません。事業化が進まない主な要因は、国との調整でしょうか。予算でしょうか。愛楽園将来構想を前に進める上で最大の課題は何ですか。また、サウンディング型市場調査（民間事業者との対話）の実施から４年たった現在まで、事業者の公募や事業化に至っていない主な要因についてお伺いします。	市民部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
3　屋我地中学校の跡地利用計画について	⑴　旧屋我地中学校の跡地利用について、これまでも一般質問で取り上げてきました。また、市議会の市民意見交換会においても、地域住民から旧屋我地中学校跡地の今後の利用や活用方針についての意見、要望が出されています。市からは、「名護市公共用地の跡地利用計画プロセス」に基づき、地域の要望等を踏まえて取り組んでいくとの説明がされています。しかし、これまで何度も質問してきたにもかかわらず、具体的な跡地利用の方向性が見えてこない状況にあります。屋我地地域では、人口減少や少子高齢化、地域経済の停滞、雇用の場の不足などが課題となっており、旧屋我地中学校の跡地は地域の将来を考える上で重要な公共財産であると思います。そこで、以下についてお伺いします。 ア　現在の進捗状況について イ　公共用地の跡地利用計画はどの段階まで進んでいるのか。 ウ　これまでに開催された会議及び協議会等の開催状況について エ　協議会メンバーの構成について オ　協議した内容について カ　計画が進まない最大の要因について	地域経済部長
4　台風・強風時における保育施設の開園基準について	⑴　台風接近時、暴風警報等が発令された場合は休園となります。しかし、警報等が発令されていなくても、強風や大雨により乳幼児の登園・降園時の送迎には危険が伴う場合があります。保育施設内の安全だけでなく、施設までの移動中における飛来物、倒木、冠水、視界不良、交通事故等の危険も考慮する必要がありますが、以下についてお伺いします。 ア　台風・強風時の開園・休園の判断基準について イ　暴風警報が発令された場合の対応について ウ　警報が発令されてない場合、強風や大雨、道路状況等をどのように評価しているのか。	こども家庭部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	エ　開園・休園の判断は、市と各保育園のどちらが行うのか。 オ　判断に用いる気象情報、風速、道路状況、交通機関の運行状況等について、具体的な基準や目安はあるのか。 カ　警報が発令されていない場合は、基本的に安全に登園できると判断されているのか。 キ　開園・休園の判断基準について	

第 224 回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	4	氏名	宮里　辰之	予定時刻	午後２時 40 分頃
質問方式		○	一括	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1　名護市二見以北 10 区地域活性化基本計画の推進について	⑴　令和７年３月に策定された「名護市二見以北 10 区地域活性化基本計画」について、令和７年度から令和８年度までの前半２年間を各プロジェクトの推進体制、実施内容、事業原資等について具体的に検討する期間とし、その後、事業化・社会実装を進めていくロードマップが示されています。そこで、以下について伺います。 ア　基本計画策定以降、計画の実現に向けてどのような取組及び地域への支援を行ってきましたか。現在の進捗状況と併せて伺います。 イ　基本計画に位置づけられた５つの主要プロジェクトについて、現在どこまで具体化されていますか。特に実施主体、推進体制、事業内容及び財源の検討状況について伺います。 ウ　基本計画の推進に当たり、現時点で市が認識している主要な課題、または計画実現を妨げているボトルネックは何ですか。また、それらの課題に今後どのように対応する考えか伺います。 エ　市長は、二見以北 10 区地域活性化基本計画を今後の市政運営の中でどのように位置づけていますか。また、計画期間である令和 11 年度までにどのような状態まで実現することを目指しているのか、市長の考えを伺います。 ⑵　基本計画を実行するための体制、人材及び財源の確保について、基本計画を「つくって終わり」にせず、実際の地域づくりにつなげていくためには、計画を実行する体制とそれを担う人材及び財源の確保が重要であると考えます。そこで、以下について伺います。	地域経済部長

質問の事項	質問の要旨	予定答弁者
	ア　名護市二見以北10区地域活性化推進会議のこれまでの開催状況、協議内容及び成果について伺います。また、基本計画に実行部隊として位置づけられているプロジェクトチームの設置及びその活動状況について伺います。	ア　地域経済部長
	イ　計画の推進に当たり、名護市、二見以北地域振興会、地域住民、地域事業者等がそれぞれどのような役割を担うことを想定しているのか伺います。特に、二見以北十区の地域交流拠点であるわんさか大浦パーク及びその運営を担う株式会社わんさかについて、地域づくりを進める上で市としてどのような役割を期待していますか。また、地域づくりを推進するためのコーディネート機能や事務局機能を強化する観点から、どのような連携や支援が可能であると考えているのか伺います。	イ　地域経済部長
	ウ　二見以北地域では人口減少や高齢化に伴い、地域内だけで地域づくりを担う人材を確保することが難しくなってきています。基本計画においても地域おこし協力隊をはじめとした外部人材の活用が位置づけられていますが、地域おこし協力隊、地域プロジェクトマネージャー、外部専門人材等の制度を二見以北地域で活用することについて、市はどのように考えているのか伺います。また、地域から具体的な人材ニーズが示された場合、制度導入の検討から募集、配置まで、どのような手続とスケジュールが想定されるのか伺います。	ウ　地域経済部長
	エ　国や県においては、総務省、農林水産省、国土交通省等による地域振興や人材確保、農村振興、移住・定住等の様々な支援制度があります。これらの支援制度について、地域側が必要な情報を把握して実際の事業申請や実施につなげていくため、市が制度情報を整理して地域へ定期的に共有するとともに、制度選定や申請を伴走支援する仕組みを構築できないか伺います。	エ　地域経済部長
	オ　基本計画を実行するために必要となる予算について、今後どのように財源を確保していく考えか伺います。	オ　地域経済部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑶　二見以北地域における住宅確保と移住・定住について、二見以北10区地域活性化基本計画では、「持続可能な住宅確保」が主要プロジェクトの一つとして位置づけられています。二見以北地域では、地域への移住やUターンを希望する人がいても、賃貸住宅をはじめとする入居可能な住宅が少なく、「住みたいが住めない」という状況が人口減少対策や担い手確保を進める上で大きな課題となっています。そこで、以下について伺います。	
	ア　二見以北地域における住宅不足について、市は現在の住宅戸数、空き家数、実際に賃貸・売買が可能な物件数、移住・定住に関する相談件数等の状況をどのように把握しているのか伺います。また、二見以北地域での住宅確保を進める上で現在どのような課題、あるいはボトルネックがあると認識しているのか伺います。	ア　地域経済部長
	イ　二見以北地域における住宅確保については、新たな住宅整備だけではなく既存住宅や空き家の改修、公的賃貸住宅、地域優良賃貸住宅制度、民間事業者との連携、お試し住宅など、複数の手法を組み合わせて進めていく必要があると考えます。二見以北10区地域活性化基本計画における「持続可能な住宅確保」の実現に向け、市はどのような事業手法を検討しているのか伺います。	イ　地域経済部長
	ウ　住宅整備や空き家活用、移住・定住促進等に活用可能な国・県の補助制度や財源措置について、市はどのような制度を想定しているのか伺います。	ウ　地域経済部長
	エ　人口減少が著しい地域に対する国の地域振興制度とその活用について、南城市では市全体ではなく旧知念村地域が「一部過疎地域」として指定され、地域の実情に応じた移住・定住等の施策が進められています。一方、沖縄県が公表している地域指定に関する資料では、名護市内にも「辺地」に指定されている地域が存在しています。そこで、現在、市内において辺地に指定されている地域はどこですか。また、二見以北十区には辺地に含まれる地域はありますか。その指定状況について伺います。	エ　企画部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	オ　辺地、特定農山村地域、その他の条件不利地域を対象とする制度について、二見以北地域で現在活用している制度及び今後活用可能な制度はどのようなものがあるのか伺います。特に、二見以北地域の住宅確保、移住・定住及び生活環境の整備という観点から、既存の地域指定や国・県の制度を横断的に整理し、活用可能な財源や事業制度を調査・検討する考えはあるか、市の見解を伺います。	オ　企画部長
	カ　過疎地域の指定を受けていない自治体であっても、一定の要件を満たす地域については「辺地」の指定や各種地域振興制度の対象となる場合があります。二見以北地域について、辺地を含む条件不利地域に係る各種制度の対象となる可能性をこれまでに調査または検討したことがあるか伺います。	カ　企画部長
	キ　二見以北地域も辺地の対象となる可能性がある場合、どのような公共施設整備や財政措置等を活用できるのか伺います。	キ　企画部長
	⑷　二見以北地域では人口減少及び少子高齢化が進んでおり、若者世帯や子育て世帯の定住を促進することが地域を持続していく上で重要な課題となっています。また、二見以北10区地域活性化基本計画では「持続可能な住宅確保」が主要プロジェクトの一つとして位置づけられていますが、既存の市営住宅についても住宅困窮者への住宅供給という本来の役割を踏まえながら、地域の実情に応じて若者世帯や子育て世帯の定住促進に活用していくことができないかと考えます。そこで、市営住宅を活用した若者・子育て世帯の定住促進について、以下について伺います。	建設部長
	ア　二見以北地域に所在する市営住宅について、それぞれの管理戸数、入居戸数、空き住戸数、空き家待ちの申込状況及び近年の応募倍率について伺います。また、入居希望が少ない住宅がある場合、その状況及び要因をどのように分析しているのか伺います。	

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	イ　那覇市では、人口減少・少子化対策の一環として市営住宅条例及び施行規則を改正し、子育て世帯について収入基準の緩和対象を高校生年代まで拡大しています。さらに、新婚若者世帯については、40 歳未満、婚姻後２年未満等を要件として、収入基準の緩和、市内居住・勤務要件除外、優先的な入居選考及び期限付入居制度を導入し、市営住宅を若者の定住促進にも活用しています。一方、名護市住生活基本計画においても若年世帯向けの借り上げ市営住宅や子育て期に限定した期限付入居制度等について検討することが示されています。これらについて、現在までにどのような検討を行なってきましたか。また、制度導入に向けた課題をどのように認識しているのか伺います。 ウ　市全体で一律に市営住宅を運用するのではなく、二見以北地域のように人口減少が特に進行している地域においては、地域の人口構造や住宅需要等を踏まえた運用についても検討する必要があると考えます。そこで、二見以北地域に所在する市営住宅の一部について、若者世帯、子育て世帯、新婚世帯等が入居しやすくなるよう、法令の範囲内で収入基準の緩和、市内居住または勤務要件の見直し、優先的な入居選考、若者、子育て世帯向けの募集枠の設定、期限付入居制度などを組み合わせた制度を導入することは可能か、市の見解を伺います。また、現行の条例及び規則で対応できるものと、条例または規則の改正が必要となるものについて併せて伺います。 エ　二見以北 10 区地域活性化基本計画に掲げる「持続可能な住宅確保」を実現するため、市営住宅を単に既存ストックとして管理するのではなく、若者・子育て世帯の定住促進という地域政策の観点から活用していくことについて、市はどのように考えているのか伺います。また、那覇市の取組など、他自治体の事例も調査した上で二見以北地域の実情に合った市営住宅の活用方法について具体的に検討する考えはあるか伺います。	

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
2　農畜産物被害対策及び農業の省力化・スマート化について	本市においては、農業者の高齢化や担い手不足、農業資材等の価格高等、有害鳥獣や病害虫による農作物への被害など、農業経営を取り巻く環境が厳しさを増しています。第５次名護市総合計画後期基本計画では、次世代を担う農業者の確保・育成や農業基盤の充実、地域特性を生かした農業振興を進めることが示されています。また、名護市農林水産振興計画では、有害鳥獣や病害虫による被害防止対策、省力化、効率化のためのスマート農業や作業工程の見直し等についても位置づけられています。農業者が将来にわたり安定した経営を続けていくためには、被害を減らす対策とともに機械化やデジタル技術等を活用し、少ない人数でも生産を維持・拡大できる環境を整えることが重要であると考えます。 ⑴　農畜産物被害への対応について、以下を伺います。 ア　市内で発生している農畜産物被害について、有害鳥獣、病害虫、自然災害等の主な被害の種類、被害件数、被害面積及び被害額をどのように把握しているのか、近年の推移と併せて伺います。 イ　特にイノシシやカラス等による農作物被害について、これまで名護市鳥獣被害対策協議会等と連携してどのような対策を実施してきたのか伺います。また、防護柵の設置、捕獲・駆除等の取組によって被害額や被害面積がどの程度減少したのか、その成果及び現在の課題について伺います。 ウ　農業者から被害の相談があった際の相談窓口、現地確認、対策実施、国・県等の支援制度の活用について、現在どのような支援体制となっているのか伺います。 ⑵　農業の省力化・機械化及びスマート農業について、以下を伺います。 ア　農業者の高齢化や担い手不足が進む中、農作業の省力化・効率化は今後さらに重要になると考えます。現在、農業用機械や施設、ＩＣＴ、ＩＯＴ、ドローン、自動化機器等の導入について市が実施している支援及び国・県等の支援制度の活用状況を伺います。	農林水産部長 ア　農林水産部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	併せて、これまでの導入件数、対象となった農業者数及びその成果について伺います。 イ　本市は多品目かつ比較的小規模な農家も多い地域であり、高額な農業機械やスマート農業機器を個々の農家が導入することが難しい場合もあると考えます。農業機械等の共同利用、作業受託、農業生産法人やＪＡ 等を通じた共同利用など、個々の農家が大きな初期投資をしなくても省力化、機械化の恩恵を受けられる仕組みについて、市はどのように考えているのか伺います。 ウ　名護市スマートシティモデルにおいても農業分野におけるデジタル技術の活用や省人・省力化が位置づけられています。農林水産部とデジタル分野を担当する部署、ＪＡ、県、研究機関等が連携し、本市の農業に適した技術について実証・導入を進めていく考えはあるか伺います。	イ　農林水産部長 ウ　農林水産部長
3　障がい者（児）への支援について	障害のある人もない人も誰もが住み慣れた地域で安心して生活し、地域社会の一員として参加できる共生社会を実現するためには、障害福祉サービスを充実させるだけでなく、障害への理解を深めて社会的な障壁を取り除き、必要な支援を地域全体で提供できる環境をつくることが重要であると考えます。本市においては、第４次名護市障がい者プランにおいて、障害を理由とする差別の解消及び合理的配慮の普及、虐待防止、相談支援体制の充実、地域生活支援拠点等の整備などが位置づけられています。 ⑴　障害への理解及び合理的配慮ができる地域づくりについて、以下を伺います。 ア　市が考える障害のある人に対して「適切な配慮ができる地域」とは具体的にどのような地域の状態を指すのか伺います。	福祉部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	イ　障害者差別解消法では、行政機関に加えて令和６年４月から民間事業者にも合理的配慮が義務化されています。市民、市職員、学校、市内事業者等に対し、障害に対する理解及び合理的配慮についてこれまでどのような研修、啓発、交流等の取組を行なってきましたか。また、その実績及び課題について伺います。 ウ　障害を理由とする差別や合理的配慮に関する相談について、市民や事業者が相談できる窓口及び相談後の対応体制はどのようになっているのか伺います。また、今後、市民や事業者への理解促進をどのように進めていく考えか伺います。	
	⑵　障害者虐待防止法に基づき本市が受け付けた相談・通報に関して、直近５年間の相談・通報件数、虐待と判断した件数、被虐待者数、養護者・障害者福祉施設従事者等による虐待の区分について、その推移を伺います。また、障がい児に対する虐待については、こども家庭センターをはじめとする関係部署及び関係機関とどのように情報共有し、連携しているのか伺います。	福祉部長
	⑶　障害のある人が地域で安心して暮らし続けるための支援体制について、第４次名護市障がい者プランでは「相談」、「緊急時の受入れ・対応」、「体験の機会・場の提供」、「専門的人材の確保・養成」、「地域の体制づくり」の機能を担う地域生活支援拠点等について、令和６年度の単独設置を目標としていました。現在の地域生活支援拠点等の整備状況及び各機能の実施状況について伺います。また、市が委託する相談支援事業所、自立支援協議会、障害福祉サービス事業所、医療機関、社会福祉協議会、学校、県等との連携状況及び現在の支援体制における課題について伺います。さらに、第４次名護市障がい者プランでは強度行動障害のある方への支援体制について、令和８年度までの整備を目標としていますが、現在の進捗状況と取組について伺います。	福祉部長

第 224 回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	5	氏名	島袋　力		予定時刻	午前 10 時頃
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1　ラーケーション制度について	⑴　令和８年度から市立小中学校においてラーケーション制度が実施されています。そこで、以下について伺います。 ア　制度開始から現在までの利用状況について、小中学校それぞれの利用児童生徒数及び延べ利用日数について伺います。また、学校によって利用状況に差があるのか伺います。 イ　ラーケーション制度を利用するためには、保護者が制度の趣旨や利用方法を十分に理解していることが重要であると考えます。そこで、市教育委員会及び各学校では保護者に対してどのような方法で周知していますか。また、制度の利用方法や申請手続等についての説明はどのように行っているのか伺います。 ウ　ラーケーション制度を利用して学校を休んだ場合は通常の授業が受けられなくなりますが、学習上の不利益が生じないよう、学校では授業内容や学習面についてどのようなフォローや配慮を行っているのか伺います。	教育次長
2　高齢者の買物・通院などに対する移動支援について	⑴　現在、本市ではコミュニティバスなご丸の利用実績や市民ニーズを踏まえ、地域公共交通計画の改定を進めています。そこで、なご丸の既存路線だけでは対応できない地域において、予約型や乗合交通などの運行に関してモデル地区を一、二か所を選定し、試験的に導入できないか伺います。	建設部参事

質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
3	本市の教育環境より	⑴　市立小中学校通学路の危険箇所について、学校・ＰＴＡ・区・警察・市で洗い出して一斉点検し、優先順位をつけて改善するような仕組みはつくれないか伺います（例えば、危険度をＡ・Ｂ・Ｃに分類し、Ａは年度内に改善するような取組について）。	教育次長
4	健康増進・介護予防・スポーツ増進・子育て支援について	⑴　公共体育施設などの使用料について伺います。また、市内・市外在住者別の利用状況や使用料に係る減免件数・人数、料金徴収状況について伺います。（過去３年間の資料提出）	地域経済部長 建設部長　※要調整
		⑵　医療費や介護費の抑制（健康増進・介護予防）、子育て世代の負担軽減（子育て支援）、スポーツ振興（利用者負担軽減）という観点から、市民が公共体育施設を利用する際の使用料の無償化を検討する考えはないか伺います。	地域経済部長 建設部長　※要調整
5	名護市武道館の整備・建設について	⑴　これまで、武道館の早期の整備・建設に向けて何度も取り上げてきました。剣道や空手、柔道、相撲などの武道は、青少年の健全育成や体力づくり、礼節を学ぶ場として重要な役割を果たしています。また、武道施設は競技だけではなく地域の健康づくりや高齢者の運動場所、災害時の避難施設としても活用できると思います。そこで、令和８年度の整備状況と令和９年度の整備計画について伺います。	地域経済部長
6	地域の声より	⑴　以前から調整していますが、数久田区の轟の滝公園の入り口に門扉を設置することについて伺います。	地域経済部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	6	氏名	仲尾　ちあき	予定時刻	午前11時10分頃
質問方式		○	一括	一問一答（事項別）	一問一答（要旨別）

質問の事項	質問の要旨	予定答弁者
1　選挙ポスターの掲示について	⑴　選挙期間中のポスターの掲示板設置について、以下をお伺いします。 ア　設置場所の選定について イ　車道沿い・歩道沿いの安全確保について ウ　設置業者の選定について	選挙管理委員会事務局長
2　市役所の窓口受付時間の変更について	⑴　窓口受付とは、具体的にどのようなことを指すのでしょうか。午後４時には完全に市役所を閉庁するということかお伺いします。	総務部祖慶参事
	⑵　窓口受付時間を変更する目的についてお伺いします。	総務部祖慶参事
	⑶　この変更について、いつ決定したのかお伺いします。	総務部祖慶参事
	⑷　時間外勤務の状況と窓口受付時間の変更に伴う時間外勤務の削減目標はあるのかお伺いします。	総務部祖慶参事
3　出生届時のワンストップ窓口について	⑴　出生届の手続に際し、市民の方から多く声が寄せられています。出生届に伴う各種手続を一つの窓口で行えるワンストップ窓口の導入についてお伺いします。	市民部長

質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
4	防災危機管理監及び防災危機管理課の設置について	⑴　度重なる台風の発生など、近年は自然災害が頻発しています。災害はいつ発生するか分からないからこそ、市民の生命と財産を守るためには平時からの防災・危機管理体制の強化が重要であると考えます。そこで、防災危機管理監の配置及び防災危機管理課を早急に設置すべきと考えますが、市としてどのように認識しているかお伺いします。	総務部長
5	官民連携による救急搬送体制について	⑴　本市における救急搬送体制を持続可能なものとするために、民間事業者（フィルタス株式会社）を活用し、官民連携して取り組むことは重要であると考えます。そこで、以下についてお伺いします。 ア　官民連携による救急搬送の導入に至った経緯について イ　消防本部救急隊員の負担軽減について ウ　実証事業の結果について エ　今後の取組について	消防長
6	循環型農業について	⑴　近年、農家においては飼料や肥料などの価格が上がり、必要な資材を安定して確保することが難しくなってきています。後継者不足の状況でもある中、ソルガム栽培を軸とした循環型農業と６次産業の統合モデルとして名護ビジネスモデル構築の提案がありますが、市の見解をお伺いします。	農林水産部長
7	無電柱化について	⑴　令和６年第216回定例会で一般質問させていただいた電線類の地中化に関して、今年は台風の当たり年と言われています。５月から度々襲来し、停電の被害を受けられた市民も多くいます。被害の多い地域の方々は、「またか」、「買物もできない」、「今度は何日続くかな」とおっしゃっています。取り残された感じの物言いに、心痛の思いです。今後、市としてどのように取り組んでいくのかお伺いします。	建設部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	7	氏名	宮城　研二		予定時刻	午後１時30分頃
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
１　名護市コミュニティバス「なご丸」の路線見直しについて	⑴　令和５年度より本格運用されている名護市コミュニティバス「なご丸」の路線は、令和６年度に羽地・屋我地線が追加され、地域の公共交通の利便性も高まったと見受けられます。しかし、源河区や稲田小学校区においてはコミュニティバスの路線が設置されておらず、地域からも設置の要望の声を多くいただいています。今後路線の見直しを検討する機会はあるのか、市当局の見解をお伺いします。	建設部参事
２　「ソルガム」を活用した循環型農業・６次産業化事業の推進について	⑴　農家の後継者不足や耕作放棄地、飼料・肥料の物価高騰など、農業に関する課題は深刻化しています。かねてから沖縄ＳＤＧｓ食糧計画協同組合から「ソルガム」を活用した循環型農業・６次産業化事業が市に対し提案され、市の第２期名護市総合戦略「基本方針⑵農業の振興」の具体的取組部分とも合致する内容と存じますが、市当局の見解と今後の対応をお伺いします。	農林水産部長
３　台風被災時の長時間停電への対策について	⑴　今年８月上旬に台風第13号が襲来した際、稲田小学校区全ての集合住宅に向けて子育て世代への意見・環境調査アンケートを独自に実施しました。その結果、「長時間の停電を解消してほしい」との要望が多く寄せられました。家電の使用や携帯電話の充電ができないことはもちろん、集合住宅だと水のくみ上げもできず、断水によって子供のミルクづくりや入浴も困難になるとのことでした。この問題について、市議会としては６月定例会に沖縄県知事宛てに停電対策の意見書を提出しましたが、市はどのような対応をするのかお伺いします。	総務部長

質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
4	名護市における重症心身障がい児の状況について	⑴　６月定例会で一般質問させていただいた本事項ですが、「人員体制に余裕がなく、マンツーマン対応が必須等、手のかかる児童は受け入れができない場合がある」との答弁をいただき、レスパイトケアのために「事業所に対して行う支援が、行政側からのアプローチである」と述べて一般質問を結ばせていただきました。進捗と今後について、市当局の見解と対応をお伺いします。	福祉部長
5	市営住宅における区への加入状況について	⑴　住居の安定確保を目的とする市営住宅ですが、各区において入区を拒むケースや行事に参加をしない等、公民館従事者が対応に困っているそうです。入居の際に交わす留意事項項目にも「入居後は区民として区の地域行事活動への積極的な参加・協力をお願いする」旨の文言が記載されておりますが、区への加入を促す市当局の取組をお伺いします。	建設部長
6	渡具知市長の選挙チラシ「地域ごとの魅力づくりの加速」について	⑴　今年１月に行われた名護市長選挙において渡具知市長が配布していたチラシに「自治会の運営継続や豊年祭などの地域行事を支援」との記載がありましたが、その具体的な内容についてお伺いします。	地域経済部長
7	市道古我知山線の舗装整備について	⑴　市道古我知山線について、３月定例会での私の一般質問において「アスファルト舗装での対策を行う検討を進めている」との答弁をいただきましたが、その進捗についてお伺いします。	建設部長

第 224 回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	8	氏名	長山　正邦		予定時刻	午後２時 40 分頃	
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）		一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1　農業の推進について	⑴　市内の農業従事者数について伺います。	農林水産部長
	⑵　市内の農地所有適格法人数について伺います。	農林水産部長
	⑶　個人及び法人に対する補助金の詳細について伺います。	農林水産部長
	⑷　ソルガム栽培を軸とした循環型農業について伺います。	農林水産部長
2　公共工事の入札について	⑴　本市の入札方法について伺います。	総務部長
	⑵　金額にかかわらず、一度受注を受けた業者はその年度は同一工程において入札に参加できないと聞いていますが、その点について伺います。	総務部長
	⑶　低額（500 万円程度）の入札においては参加業者が少なく入札不調になるケースがあると聞きますが、本市の現状について伺います。	総務部長
3　学童施設の設置について	⑴　学童（放課後児童クラブ）の設置基準について伺います。	こども家庭部長
	⑵　学童（放課後児童クラブ）への補助金について伺います。	こども家庭部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
4　インフルエンザ対策について	⑴　現在、県内においてはインフルエンザが流行しているとのニュースを見ますが、市内の状況について伺います。	市民部長
	⑵　本市では現在どのような対策を講じているのか伺います。	市民部長
5　市民からの要望について	⑴　許田の道の駅を過ぎた辺りから名護東道路トンネル付近にかけては海岸線に狭い間隔でたくさんの電柱が立っており、景観を損ねています。電線の地中化ができないかとの要望がありますが、その対応について伺います。	建設部長
	⑵　安和スーパー前の街灯の修理について伺います。	建設部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	9	氏名	東恩納　琢磨		予定時刻	午前10時頃
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1　新基地建設について	⑴　今回の沖縄知事選挙は基地を容認した古謝玄太氏が当選しましたが、古謝氏を応援した市長も辺野古の新基地建設容認を認めますか。	市長
	⑵　新基地建設には既に7,835億円を支出して総事業費の８割に達していますが、土砂投入の進捗率は18%にとどまり、完成の見通しは立っていません。税金が湯水のごとく使われ、辺野古大浦湾の貴重な自然を壊し、しかも米軍は完成しても滑走路が短いため普天間飛行場を返さないと言っています。名護市長としてこの状況をどのように受け止めていますか。	総務部祖慶参事
2　学校給食センターについて	⑴　名護第一学校給食センターが完成し、２学期から給食が提供されていますが、学校や児童生徒からはどのような反応がありましたか。また、働いている方からは職場環境についてどのような評価、意見があったか伺います。	教育次長
	⑵　名護第一学校給食センターの完成が遅れたことによりどのような負担が増えましたか。また、委託契約金額に変動はあったのか伺います。	教育次長
	⑶　既存の給食センターで働いていた職員は何人が継続雇用され、何人が継続されなかったのか。また、継続されなかった理由を伺います。	教育次長
	⑷　子供たちに安全安心な学校給食を提供するための今後の整備計画はどのようになっているか伺います。	教育次長

質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
3　保育園での米軍関係者との交流について	⑴	英語教室という名目で、市内保育園等で米軍人あるいは元軍人と幼児との交流が行われていると聞きました。どの保育園で行われ、年何回行われているのですか。また、その予算額を伺います。加えて、どういった意図で米軍関係者に市がそれを許可しているのか伺います。	こども家庭部長
4　二見杉田トンネルについて	⑴	前々回の一般質問で取り上げた二見杉田トンネル内の照明については改善されていますが、漏水については調査中とのことでした。原因は解明されたのか伺います。	建設部長
5　子供の学びの保証について	⑴	文科省が発達障害等のある児童生徒の不登校率が高いとの報告書を公表しました。また、支援策については６項目（合理的配慮、ケース会議、連携、授業、対話と合意形成、引継ぎ）を示しています。市教育委員会として、発達障害等のある児童生徒に対して現在どのような支援を行い、また今後どのような取組を考えていますか。	教育次長
	⑵	市教育委員会に報告されている教職員による不適切指導は何件ありますか。また、不適切指導が不登校の要因となったケースは何件ありますか。不適切指導で傷つく子供を減らすため、教職員が「子どもの権利条約」を学ぶことの必要性が言われていますが、今後市教育委員会が主導して子どもの権利条約の教職員研修を行うことはできませんか。	教育次長
6　中学校部活動の地域移行について	⑴	他市町村では、中学校部活動の地域移行が実施されても実施主体が市となるにより安全管理や保護者負担の軽減が図られています。本市もそのような形での地域移行を進めるべきではないですか。地域移行についての実態調査やアンケート結果を資料として提出してください。	教育次長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
7　自衛隊への市民の名簿の提供、閲覧について	⑴　市内の高校生宛てに自衛官募集のはがきが届いているようです。名護市は 2023 年に自衛隊への名簿の提供を行わないと市民団体へ回答していますが、その後も提供していませんか。また、自衛隊による名簿の閲覧は 2023 年以降ありましたか。その閲覧理由と閲覧回数も提示ください。加えて、自衛隊の閲覧について市民が閲覧を拒否することはできますか。その根拠も示してください。	市民部長
8　小学校跡地について	⑴　嘉陽小学校跡地を利用している沖縄美ら島財団が今年度で撤退するとのことですが、市として今後どのような対応を考えているのか伺います。	地域経済部長
	⑵　天仁屋小学校跡地の利活用に係る進捗状況について伺います。	地域経済部長
9　公契約条例について	⑴　2026 年現在、全国で 101 の自治体が公契約条例を制定しています。時代のニーズに対応するため、これからも増えていくと思われます。本市においても労働者のモチベーションアップと担い手確保の面から早急に制定することが求められていますが、市としての見通しを伺います。	総務部長

第 224 回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	10	氏名	ヤラ　りほ	予定時刻	午前 11 時 10 分頃
質問方式		○	一括	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）
質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨			予定答弁者
1　独居高齢者の通院支援としてのタクシーチケットの導入について		独居高齢者の通院に係る移動手段が課題となっています。市内の病院は市の中心部に集まっているため、市内各所から各々の病院への通院が大きな市民負担となっています。運転免許証がなく、移動に誰かの支援を必要とする独居高齢者の方は、バス停が遠いとタクシーを利用したり御家族の誰かが仕事を休んで送迎したりすることが主な手段となっています。中には、御家族がなかなか休めないために仕方なくタクシーを利用しており、毎月数万円にもなっている方も実際にいらっしゃいます。そこで、行政ができる通院に係る移動支援として、運転免許証がなく、バス停まで歩くのが困難な方で、通院に誰かの支援を必要とするひとり暮らしの高齢者を対象とした希望者申請制のタクシー利用補助について、以下をお伺いします。 ⑴　高齢者（65 歳以上）の通院に係る移動支援について、現在利用できる行政や民間サービスはありますか。（国、県、本市、各種団体含む） ⑵　名護市福祉タクシー利用助成事業の対象外となる「身体障害者手帳や療育手帳を持たない」方で、「運転免許証を持たない」・「65 歳以上の独居高齢者」の２つの条件を満たした人口を年齢別に伺います（資料提供願います）。			福祉部長 福祉部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑶　社会福祉課の希望申請による介護タクシーチケットは年額１万2,000円規模で事業をされていますが、同程度の支援で検討した場合において、「運転免許証を持たない」・「身体障害者手帳や療育手帳を持たない」・「65歳以上の独居高齢者」の３つの条件を満たした人数を掛けた場合の事業規模はどれくらいになりますか。	福祉部長
	⑷　今後、独居高齢者の通院に係る移動支援に関する市民アンケート調査を実施することについてどのようにお考えでしょうか。	福祉部長
	⑸　令和２年度に本市で行われていた「70歳以上の方の高齢者買物支援事業」で560円券を６枚送付する事業がありましたが、その課題や効果、アンケートなどの検証結果があれば御提示ください。	福祉部長
２　名護市ファミリー・サポート・センターについて	前回の６月定例会の私の一般質問において、「子育て世帯の夜間の居場所」と「ベビーシッター利用支援」についてお伺いしたところ、どちらも「既存のサービスであるファミリー・サポート・センターで補完したい」との答弁があったことを踏まえ、当該事業の現状について以下をお伺いします。	
	⑴　名護市ファミリー・サポート・センターが設立された年月日と本市が当該事業への財政支援を始めた年月日を伺います。また、過去５年間の収支についても伺います（収支報告書の資料提供願います）。	こども家庭部長
	⑵　過去５年間の年度別登録会員数（おねがい会員、まかせて会員）、実働会員数（実際にサポート業務を行なっている会員数）、まかせて会員になってから一度もサポートを行なっていない会員数、依頼件数、成立件数、不成立件数について伺います（資料提供願います）。	こども家庭部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑶　「早朝」、「深夜」、「宿泊」、「病児・病後児」、「緊急」のそれぞれについて、現在実際に明確に対応可能であると回答のある会員数について伺います。また、過去５年間の依頼件数、成立件数、不成立件数について伺います（資料提供願います)。	こども家庭部長
	⑷　名護市ファミリー・サポート・センターの職員数（正規・非正規の雇用形態ごと）と職員の保有資格（保育士免許、看護師免許、公認心理士、教員免許、カウンセリングなどの保育・教育・心理などに関する資格の有無）について伺います。	こども家庭部長
３　公立沖縄北部医療センターの医師や看護人材の確保について	人の命や健康を守る医師や看護人材の確保のための施策が必要不可欠な時代となっています。そこで、以下をお伺いします。 ⑴　「看護奨学金」という制度があります。この制度の概要と本市においてこの制度を実施している病院について伺います（資料提供願います)。また、建設中の公立沖縄北部医療センターもこの制度の対象施設として看護奨学金制度を実施される予定はありますか。	市民部長
	⑵　琉球大学医学部において2009年度から開始されている「地域枠制度」があります。学生は県から奨学金の貸与を受ける一方、将来は離島やへき地で一定期間勤務することによりその返済が免除されるという制度です。公立沖縄北部医療センターは、この地域枠制度の勤務対象施設でしょうか。	市民部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	11	氏名	嘉陽　宗一郎		予定時刻	午後１時30分頃	
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）		一問一答 （要旨別）
質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨					予定答弁者
１	古謝玄太新知事の公約について	⑴	９月13日に投開票された沖縄県知事選挙において、古謝玄太氏が同選挙最多得票となる42万3,124票を獲得して当選しました。古謝新知事の公約について、市の見解を伺います。 ア　現場の声を迅速に反映させるために「やんばる知事室」を設置するとのことですが、その詳細について伺います。 イ　北部地域への空港設置について検討を進めるとのことですが、本市の見解と今後の対応について伺います。				企画部長
２	宿泊税の導入について	⑴	私の一般質問（2024年12月議会・2025年12月議会）で導入の提案と導入に向けた進捗状況を確認してきた本市における宿泊税ですが、いよいよ2027年２月１日に沖縄県の宿泊税導入と足並みをそろえる形でスタートします。そこで、以下について伺います。 ア　本定例会に上程されている議案第44号「名護市宿泊税基金条例の制定について」の説明資料の中で2027年度の税収試算が３億6,000万円となっていますが、その根拠について伺います。 イ　観光業界から、基金が設置されて使途が明確になることについて評価の声があります。一方で、これまでより観光振興に関する予算が減り、その減った分を基金から支出する予算の組み替えが起こり、結果的には中身が変わらないのではとの懸念の声も聞こえます。私もそれはあってはならないと考えていますが、市当局の見解について伺います。				地域経済部長
３	高齢者へのタクシー券配布について	⑴	市長公約の高齢者へのタクシー券配布については早期実施を望む市民の声がありますが、現在の取組状況と今後の見通しを伺います。				福祉部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
4　関係人口の創出及び二地域居住・空き家活用の一体的な推進について	⑴　地域の活力を維持・向上させていくためには、定住人口の増加だけを目指すのではなく、継続的に関わる「関係人口」を増やし、その関係を地域活動や二地域居住、さらには将来的な移住・定住へとつなげていく取組が重要であると考えます。そこで、以下について伺います。 ア　総務省は、「関係人口」を移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことと定義しています。一言で関係人口と言っても地域との関わりや地域への思いにはグラデーションがあります。そこで、本市の関係人口を可視化する手段として「ふるさと住民登録制度」の導入を提案しますが、市当局の見解を伺います。 イ　二地域居住を希望する方に対し、住まい、仕事及び地域との交流等を支援する体制を構築するため、「特定居住支援法人」の指定に対する市当局の見解を伺います。 ウ　ふるさと住民登録制度を活用して本市に継続的に関わる関係人口を可視化し、二地域居住を希望する方を特定居住支援法人につなぐとともに、本市が既に指定している「空家等管理活用支援法人」と連携し、空き家の掘り起こしや所有者への働きかけ、住まいの確保、二地域居住希望者と地域とのマッチング等を行うなど、関係人口の創出や二地域居住の促進及び空き家活用を一体的に推進することについて、市当局の見解を伺います。	ア・イ　企画部長 ウ　企画部長 建設部長　※要調整
5　本市における陸上養殖の可能性について	⑴　近年の地球温暖化による海水温上昇、記録的な不漁、また海外の和食ブームに伴う水産需要の高まりなどを背景に、陸上養殖が注目を浴びています。陸上養殖は2023年4月から水産庁による届出制がスタートし、国内市場は急成長を続けており、2030年には現在の約5倍の約1,700億円規模に達するとの試算も出ています。届出件数は2026年1月時点で全国808件のうち沖縄県が195件と1位となっており、本市においても大きな可能性があると考えていますが、市当局の見解を伺います。	農林水産部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
6　窓口業務の受付時間短縮について	⑴　2025年12月議会で提案した窓口業務の受付時間短縮について、2026年12月1日よりスタートすることとなりました。本取組が職員の働き方改革の推進とさらなる市民サービスの向上につながることを期待しつつ、以下について伺います。 ア　国が優先的にオンライン化を認めている子育て・介護関係の26手続の状況について、先行して窓口受付時間短縮を進めた浦添市は2024年度末で100%を達成していますが、本市の現在の状況について伺います。 イ　窓口受付時間の短縮は、来庁せずにすむ環境整備が重要だと考えます。一方で、市民の方から「市のホームページが分かりづらく、窓口で聞いたほうが早い」との理由で来庁しているとの声も聞かれます。ホームページのリニューアルを提案しますが、市当局の見解を伺います。	ア　総務部宮城参事 イ　企画部長
7　本市の市営住宅空家待ち入居候補者の募集について	⑴　本市の市営住宅空家待ち入居候補者の募集では、入居資格仮審査表の希望団地の欄に「申込区分」を記載することとなっており、その申込区分は市営住宅が所在する区ごとに設定されています。しかし、申込区分によっては市営住宅が4団地ある区分もあれば、1団地しかない区分もあります。そのため、どの申込区分を選択するかによって入居の可能性に差が生じることが考えられ、本来希望する地域とは異なる申込区分を選択せざるを得なかったとの声も寄せられています。そこで、現在は1つの申込区分を選択する仕組みを、第1希望から第3希望まで選択できる仕組みとするなど、入居希望者の選択肢を広げることはできないか、本市の見解を伺います。	建設部長
8　あけみおSKYドーム裏海岸のごみ問題について	⑴　あけみおSKYドーム裏海岸においては、近年バーベキューなどの利用者が増え、それに伴いごみの不法投棄も目立ちます。具体的な対策を求めますが、市当局の見解を伺います。	建設部長

質問の事項		質問の要旨		予定答弁者
9	二見以北十地区の交通安全確保及び騒音対策について	⑴	国道331号及び県道18号線では、一部区間において街路樹の枝が車道側へ張り出しており、大型車両等が通行する際、枝との接触を避けるために中央線を越えて走行せざるを得ない場合があるなど、危険な状況が見受けられます。事故防止の観点から、道路管理者に対して街路樹の枝の剪定を要望していただきたいのですが、市当局の見解を伺います。	総務部長 建設部長　※要調整
		⑵	過去の一般質問（2023年３月議会・2024年９月議会）でも取り上げていますが、二見以北十地区では国道331号が整備されて便利になった反面、スピードを出して前車両を追い越す車やバイク、米軍の大型車両、観光車両の往来も増加し、危険な状況です。また、バイクが列をなして通行する際の騒音問題も深刻です。道路管理者に対し、具体的かつ実行性のある対応を求めますが、市当局の見解を伺います。	総務部長
10	名護中心市街地における交通安全対策について	⑴	名護中心市街地周辺の一方通行道路において、一方通行の規制に反して車両が進入する事例が見受けられ、地域住民や周辺事業者等から交通安全上の懸念の声が寄せられています。当該地域は飲食店や商業施設等が集積し、歩行者や自転車の通行も多い地域です。近年は観光客の増加等に伴い、レンタカーをはじめ土地勘のない方が車両を運転する機会も増えており、一方通行の交通規制を認識しないまま誤って進入していると考えられるケースも見受けられます。具体的な交通安全対策を要望しますが、市当局の見解を伺います。	総務部長 建設部長　※要調整
11	台風接近時の休校と学校給食提供の判断について	⑴	台風接近時の対応について、休校と給食提供の可否を分けて判断している自治体もあるようです。先月の台風第26号のように月曜日の朝に休校と給食提供の可否を同時に判断する場合、給食食材の納品業者にとっては食材の発注や配送準備等、対応に混乱が生じる可能性があります。そこで、台風接近時における本市の休校及び給食提供の判断基準、判断時期並びに関係事業者への連絡手続について伺います。	教育次長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	12	氏名	嘉数　剛		予定時刻	午後２時40分頃
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
１　介護保険料の現状について	⑴　本市は介護保険料が高いとされています、本市の介護保険料の現状及び県内他市町村との比較と保険料が高い原因について伺います。	福祉部長
	⑵　介護保険料の抑制に向けた取組について伺います。	福祉部長
	⑶　介護給付費準備基金を活用した場合、介護保険料をどの程度抑制できるのか伺います。	福祉部長
２　沖縄科学技術大学院大学と本市との包括連携について	⑴　第223回定例会の一般質問において、ＯＩＳＴとの包括連携協定について取り上げました。このたび、令和８年９月10日に本市とＯＩＳＴとの包括連携協定が締結され、大変意義深く受け止めています。そこで、協定締結に至った経緯と具体的な内容について伺います。また、今後どのように事業化を進め、子供たちの教育や人材育成、スタートアップをはじめとする産業振興などにつなげていくのか、今後の取組とスケジュールについて伺います。	企画部長
３　大中四丁目知真嘉第一公園実計画について	⑴　名護第三土地区画整理地内大中四丁目知真嘉第一公園実施計画について、これまでの経緯と現在の状況、また今後の計画についても伺います。	建設部長
４　東江区津波避難路及び防災協定について	⑴　東江区は海岸に近く、津波発生時には迅速な避難が重要です。そこで、東江区における現在の避難場所や避難経路などの避難体制とその課題について伺います。	総務部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑵　津波発生時に海側から山側の高台へ速やかに避難できる新たな避難路整備について、市の見解を伺います。	総務部長
	⑶　民間施設を活用した垂直避難について、例えばサンエー東江ショッピングタウンなどとの災害時避難協定を含め、地域の避難体制を強化する考えがないか、市の見解を伺います。	総務部長
5　大南二丁目における市管理水路と私有地の権利関係について	大南二丁目には市が管理する水路があり、その一部は私有地内を通っています。また、当該土地は都市計画道路「大南１号線」の予定地にもなっています。この土地について、相続により新たに所有者となった方から当該水路と私有地との権利・管理上の関係について問合せがありました。所有者は、これまで３世代にわたり平成９年頃から複数回、議員等を通じて市に説明や回答を求めているとのことでした。一方、大南１号線については、一般質問で道路整備の進捗や今後の計画について確認したところ、前回も現時点では具体的な整備時期は見通せないとの答弁があり、道路整備はまだ先になるものと受け止めています。私の認識では、都市計画道路の整備に伴い、道路区域内にある市管理水路及びその水路が存在する私有地については道路用地として必要な土地を取得する際は買収等によって整理するという考え方があるものと認識しています。しかし、大南１号線の整備時期が未定であることから、結果として現在も市が私有地を水路として使用・管理しており、長期間にわたり整理されないままになっているのではないかと考えます。そこで、	
	⑴　私有地の使用に対する市の考え方について伺います。 ア　市が私有地を継続的に水路として使用・管理している場合の土地所有者の権利について イ　土地の買取りや使用料、賃借料、その他について ウ　当該土地以外について、これまでに使用料や賃借料、補償費等を支払った実績はあるか。	建設部長 環境水道部長　※要調整

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑵　この問題は、水路管理、土地の権利関係、用地取得、都市計画道路など、複数の分野にまたがっています。それぞれの担当部局だけでは所管の範囲を超えて判断することが難しい案件であり、結果として問題が長期化しているのではないでしょうか。このような複数部局にまたがる案件について、市としてどのように調整し、最終的な方向性を決定するのか伺います。	建設部長 環境水道部長　※要調整
	⑶　この問題は、単に一つの水路や土地の問題ではなく、市が長年にわたり私有地を水路として使用・管理している一方で、土地所有者・相続人からも長年にわたり回答を求められていることも含まれます。さらに、大南１号線については具体的な整備時期が見通せない状況です。道路整備を担当する部局、水路を管理する部局、用地や財産を担当する部局などの複数の部局にまたがることから、担当部局だけでは判断しにくい「行政のはざま」にある案件だと考えます。税金が免除されて実害はないとの認識だと思いますが、相続登記が義務化され名義変更をしないと罰金が科せられる現状の中、しっかりとした対応が必要だと思います。そこで、市長に伺います。道路整備の時期を待つのではなく、現在、市が使用・管理している私有地内の水路について、関係部局を横断して現状を調査・整理し、土地所有者や相続人に対して市として明確な方向性を示すよう、市長として指示・判断する考えはないか、見解を伺います。	建設部長 環境水道部長　※要調整

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	13	氏名	金城　隆		予定時刻	午前10時頃
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1　農業行政について	⑴　本市の直近３年の農業産出額の推移について、どのようになっているのか伺います。（資料提供）	農林水産部長
	⑵　水やり農業の普及について、市当局の対応を伺います。	農林水産部長
	⑶　屋我地済井出農道13号線について、農家の皆様からアスファルト舗装工事の要望がありますが、市当局の対応を伺います。	農林水産部長
	⑷　畜産業の現状について、以下を伺います。 ア　畜産農家の戸数について（養豚、肉用牛、ヤギ） イ　畜産農家への支援について ウ　生産高について	農林水産部長
2　地域の声について	⑴　現在中断している市道屋我地４号線の整備工事について、現在の計画と工事完了までのスケジュールについて伺います。	建設部長
	⑵　屋我市営住宅建て替え工事の進捗状況について伺います。	建設部長
	⑶　運天原地内県道110号線、サバヤ貝塚入口の緩やかなカーブ地点において交通事故が多発しており、滑り止めの舗装工事の要望がありますが、市当局の対応について伺います。	建設部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	14	氏名	福澤　奈美	予定時刻	午前11時10分頃
質問方式		○	一括	一問一答（事項別）	一問一答（要旨別）

質問の事項		質問の要旨		予定答弁者
1	「ウエディングのまち名護」による新たな観光振興と関係人口の創出について	⑴	令和６年度の沖縄県全体のリゾートウエディング実施組数は２万153組となっており、本市においてもフォトウエディングを含めると1,720組が実施しています。ウエディングは、観光振興だけでなく、訪れた方に「また名護市に来たい」、「人生の節目にもう一度帰ってきたい」と思っていただくきっかけにもなります。そこで、名護さくら祭りなどの既存イベントや地域資源とウエディングを組み合わせ、結婚記念日や家族旅行などを通じて再び名護市を訪れていただく仕組みをつくることで、「なごファン」や関係人口の創出につなげていくことについて、市当局の見解を伺います。	地域経済部長
2	がじゅまる周辺エリアの整備について	⑴	ひんぷんガジュマルは名護市を象徴するシンボルツリーであり、市民や観光客に親しまれている大切な場所です。パワースポットとしても魅力ある観光資源の一つとなっています。一方で、周辺の敷地に機材や資材等が置かれている箇所も見受けられます。市民からも「名護市を代表する場所だからこそ、よりきれいで魅力的な空間にしてほしい」といった声が寄せられており、周辺環境のさらなる充実を望む声があります。そこで、今後の取組について市当局の見解を伺います。	建設部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
3　市営市場の空きテナントの有効活用について	⑴　名護市営市場をさらに多くの方に利用していただき、にぎわいのある場所にしていくためには、現在ある空き店舗を有効に活用することも大切だと考えております。例えば、期間を限定したシェア利用やイベントスペースとしての活用など、事業者や市民が空き店舗を気軽に利用できる仕組みをつくることで新たな人の流れや市場のにぎわいにつながるのではないでしょうか。そこで、空き店舗を気軽に利用できるような取組について、市当局の見解を伺います。	地域経済部長
4　宿泊税の導入と観光振興における今後の展開について	⑴　本市においては、令和９年２月からの宿泊税の導入が決定しています。そこで、導入に向けた今後のスケジュールについて伺います。また、宿泊税による税収を今後どのような観光振興施策に活用していくのか、宿泊税導入外部委員会で検討された方向性について伺います。	地域経済部長
5　世界のウチナーンチュ大会におけるハーリー大会の開催について	⑴　５年に１度開催される世界のウチナーンチュ大会を契機とし、本市において新たな交流企画や観光振興の取組としてハーリー大会を開催することで世界各地のウチナーンチュと市民が交流できる場を創出できないかと考えております。そこで、来年10月開催の第８回世界のウチナーンチュ大会に向けての企画や取組について伺います。	企画部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	15	氏名	金城　善英	予定時刻	午後１時30分頃
質問方式		○	一括	一問一答（事項別）	一問一答（要旨別）
質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨			予定答弁者
1　地域課題に係る市民の声から		⑴	市道名座喜１号線と市道宮里中線の交差点（ローソン宮里五丁目店付近）の信号機設置等の安全対策について		総務部長
		⑵	県道71号線（名護宜野座線）沿い名護城北口線と市道山田原線交差点に仮設の一時停止表示板を設置していただきましたが、今後の信号機設置等の安全対策について		総務部長
		⑶	国道58号沿いMEGAドンキ付近（大北五丁目）の安全対策について		総務部長
		⑷	イオン名護店出入口付近（字名護4581辺り）にあったカーブミラーが撤去されていますが、再設置について		建設部長
		⑸	株式会社丸金交通付近に以前は横断歩道があったが、道路拡幅工事後からない状態が続いています。以前にも取り上げましたが、未整備の理由と再整備の予定について		総務部長
		⑹	国道58号名護東道路（数久田トンネル）工事後の海岸沿いの電柱が長年、景観を損ねています。防災・減災の観点も含め、無電柱化について		建設部長
		⑺	国道58号の21世紀の森公園の野外ステージ側出入口が特にイベント時は渋滞しますが、出入口における右折帯と矢印式信号機の設置について		建設部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑻　市道宇座線と市道柳原線の交差点における右折帯と矢印式信号機の設置について	総務部長
	⑼　ゆがふいんおきなわ前の横断歩道周辺が夜間暗いので、横断待ちの人を視認しやすくするための道路灯の設置について	建設部長
	⑽　市道山手線と県道18号線（旧名護博物館前）の交差点改良工事の完了時期と安全対策について	建設部長
	⑾　市道山手線の曲線道路や横断歩道整備箇所への道路灯の設置及び道路標示（横断歩道、中央線、外側線など）の修繕、街路樹の剪定について	建設部長
	⑿　名護博物館向かいの季節料理「湯川」前の街路樹が電線を囲っている状況にありますが、早急な強剪定の必要性について	建設部長
	⒀　大中区内の市道名護58号線道路等の維持修繕業務の内容について	建設部長
2　誰もが安心して暮らせるまちづくりについて	⑴　飲食料品、日用品等の価格上昇が続き、家計への負担が重くなっています。公共料金の引下げや給付、プレミアム付商品券などの家計支援策に係る本市の取組について	企画部長
	⑵　コミュニティバスなご丸のエリアがまたがる場合の運賃の在り方について ア　二見以北線、羽地・屋我地線の本格運行から現在までの利用状況について（資料の提供） イ　エリアがまたがる場合の運賃400円を引き下げ、同一エリア内と同様に一律200円にすることについて	建設部参事

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑶　コミュニティバスで網羅できない交通空白地の解消を目指し、オンデマンド乗合タクシーやライドシェアなどの導入について	建設部参事
	⑷　高齢者や障がい者等の住宅確保で、民間賃貸住宅への円滑な入居の促進等を図るための本市の取組について	福祉部長
3　国立療養所沖縄愛楽園について	⑴　平成31年3月策定の国立療養所沖縄愛楽園土地等利活用基本計画以後の地域と愛楽園の意見交換などの進捗状況について	市民部長
	⑵　就労支援事業所や介護事業所、グループホーム事業所等からの利活用の要望が上がってないか伺う。	市民部長
	⑶　基本計画では、レスパイトサービス・ホスピス等、医療機能等の検討も示されているが本市の見解について	市民部長
4　防災・減災について	⑴　源河区内福地川のしゅんせつについて	建設部長
	⑵　屋我地地域は台風接近のたびに長時間停電や道路封鎖等に悩まされています。電線地中化と海岸線や道路周辺の樹木の剪定について	建設部長
	⑶　屋我地地域の主要幹線道路（県道110号線と県道125号線）の交差点を信号機のない環状交差点（ラウンドアバウト）にする提案について	建設部長
5　名護市給付型奨学金の拡充について	⑴　今回の名護市議選結果における議員1減に係る報酬分を給付型奨学金の拡充と入学準備金に充てることについて	教育次長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	16	氏名	石嶺　康政	予定時刻	午後２時40分頃
質問方式		○	一括	一問一答（事項別）	一問一答（要旨別）

質問の事項	質問の要旨	予定答弁者
1　公立沖縄北部医療センターについて	⑴　コミュニティバスの乗り入れの進捗状況について伺います。	建設部参事
	⑵　路線バスの乗り入れの進捗状況について伺います。	建設部参事
	⑶　第213回定例会における私の一般質問に対し、「公立沖縄北部医療センターで夜間透析するかどうかについて、現段階では予定は示されておりません」との答弁がありました。その後、夜間透析実施に向けた検討はされているのか伺います。	市民部長
2　農業振興について	⑴　農業従事者の高齢化と離農に伴い、遊休農地（耕作放棄地）が増えてます。このままでは、農業が衰退するばかりです。そこで、以下について伺います。 ア　遊休農地（耕作放棄地）の過去10年間の状況と実施してきた対策について（資料提供） イ　農地保有合理化法人（名護市農業振興公社）を設立して遊休農地（耕作放棄地）を取得し、農地流動化の促進を図ることについて	農林水産部長
3　セグロウリミバエの防除について	⑴　セグロウリミバエの果実への寄生が2024年に市内で初めて確認され、県内全域でまん延しています。そこで、以下について伺います。 ア　現在のセグロウリミバエのまん延状況について イ　農作物への被害状況について	農林水産部長

質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
		ウ　セグロウリミバエ防除に係る現在の状況について	
4　教育行政について	⑴	スマートフォンやタブレット端末が普及し、ゲームなどで小中学生の視力低下が増えているようです。そこで、以下について伺います。 ア　小中学生の視力調査の過去10年間の推移について（資料提供） イ　視力低下に対する有効な対策及び予防方法について	教育次長
5　国立自然史博物館の誘致について	⑴	国立自然史博物館の沖縄県内（名護市）への誘致実現に向けた具体的な取組について伺います。	企画部長
6　名護市以南におけるマングース防除について	⑴	第222回定例会におけるマングース防除についての答弁は「マングース防除事業について、次年度より新たに第４期沖縄島北部におけるマングース防除実施計画がスタートする予定である。その中で、名護市への防除実施区域の南下につきましてもこれから公表される第４期計画に記載されるものと考えております」とのことでした。そこで、防除の範囲、方法及びスケジュール等の具体的な進捗について伺います。	環境水道部長
7　豊年祭での大型テント設置に係る補助について	⑴	秋になると市内各地で豊年祭が開催されます。公民館ホールが狭い区においては、観客のための大型テントの設置が必須となっていますが、物価高騰に伴いその設置費用の捻出が厳しくなってきています。そこで、地域の伝統芸能を守るため、大型テントの設置に係る費用を補助することはできないか伺います。	地域経済部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	17	氏名	大城　松健		予定時刻	午前10時頃
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1　道路行政について	安和区の国道449号本部循環線、宮城砕石工場近くの道路の1箇所に、「幅員減少」の立看板が置かれています。そのため、その区間がほぼ一車線片側通行のような状態となっており、しかもカーブのため見通しも悪く、特に大型トラックと対面した場合などはとても危険を感じるそうです。そこで、以下について市の見解を伺います。	
	⑴　いつ頃からそのような状態になったのか、市は把握していますか。	建設部長
	⑵　今後、元の２車線道路に戻す計画があるかどうか分かりますか。	建設部長
	⑶　ドライバーの安全確保のため、立看板の前に仮設の信号機を設置するよう市から働きかけることはできませんか。	建設部長
2　知的障がい者の福祉について	重度の知的障害のある子が特別支援学校高等部を卒業後に利用する生活介護施設が近年どんどん閉所され、日中の居場所を失い、近隣町村の施設を利用せざるを得なくなっている状況があります。そこで、以下について伺います。	
	⑴　卒業後に利用する生活介護施設が閉所され、相談員に探してもらってもなかなか見つからないとのことですが、この現状を市当局は把握していますか。	福祉部長
	⑵　10代後半の若い世代の知的重度障がい者向け生活介護施設不足の早急な解消を切に希望している市民に対し、市当局はどのような対応が可能ですか。	福祉部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	18	氏名	吉居　俊平		予定時刻	午前11時10分頃
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）		一問一答 （要旨別）
質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨				予定答弁者
1　国民皆保険制度と国民健康保険制度の見直しについて		⑴　子供の公的医療保険料・税の状況について伺います。 ア　国民皆保険制度を構成する市町村国保及び協会けんぽ、組合健保、共済組合における18歳以下の子供に対する保険料・税賦課の有無について端的にお答えください。 イ　これまでの議会において、法令上国保制度における均等割という賦課制度を廃止することはできないとの答弁を繰り返してきました。そこで、国保税制度の均等割の全額や半額減額は法令上可能かどうか端的にお答えください。 ウ　国保制度の被保険者である18歳以下の子供たちは、「名護市こども医療費助成制度」を活用するに当たって保険税の納付状況により制度活用に制限が設けられているのか伺います。 ⑵　子供の国保税均等割の減額について伺います。 ア　子供の国保税均等割の減額に係る見直し経過の概要について端的にお答えください。 イ　18歳以下の子供たちの国保税均等割の全額減額を行わない理由を端的にお答えください。 ⑶　国保財政赤字について伺います。 ア　令和７年度の国保財政赤字について、決算補填等目的の法定外一般会計繰入金と繰上充用金をそれぞれ伺います。 イ　国保財政赤字に含まれない一般会計からの繰入である決算補填等目的「以外」の法定外一般会計繰入金の総額と内訳について伺います。				ア　市民部長 イ　市民部長 ウ　こども家庭部長 市民部長 市民部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
2　介護保険制度の見直しについて	⑴　高すぎる介護保険料が全国でも問題になっています。厚生労働省は介護保険の第１号保険料の在り方を見直す検討に着手しました。社会保障審議会の介護保険部会で議論し、年内に結論を得て、次期介護保険事業計画で見直します。そこで、以下の点について伺います。 ア　第１号保険料（65歳以上）の１人当たり月額（基準額の全国加重平均）の推移について イ　令和７年12月25日に開催された社会保障審議会介護保険部会において、「１号保険料負担の在り方」についてはどのような意見がありましたか。	福祉部長
	⑵　全国市長会における介護保険制度の充実強化に関する提言では、第一に「持続可能な介護保険制度の確立について」が示され、「介護保険財政の持続的かつ安定的な運営のため、国費負担割合の見直しを行うなど、都市自治体の財政負担や被保険者の保険料負担が過重とならないよう財政措置の充実を図ること」としています。ここで提言されているように現在の介護保険制度の構造では財政運営に大きな支障が出てくるため、国費負担割合の見直しを行うことが求められています。しかし、数値目標がない状況となっています。そこで、以下の点について伺います。 ア　現在の国及び県、市町村の財政負担割合について イ　第１号被保険者及び第２号被保険者の保険料負担割合について ウ　介護サービス利用者における自己負担割合について	福祉部長
	⑶　日本共産党は、介護保険財政の安定化及び保険料負担の軽減のため、自己負担分を除いた介護保険財政のうち国費負担率を35％へと引き上げ、公費負担と保険料負担の割合を５：５から６：４にすることを求めてきました。ぜひ、市長からも市長会や地方六団体などの提言において数値目標の提案をしていただきたいのですが、市長の見解を伺います。	福祉部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
3　第10次介護保険事業計画における介護保険料の負担軽減について	⑴　県内で一番高い介護保険料である名護市の第１号被保険者における介護保険料の減額のため、介護給付費準備基金を活用することを提案しますが、市長の見解を伺います。	福祉部長
4　公立沖縄北部医療センターにおける人材確保について	⑴　令和３年度から毎年のように北部地区医師会病院及び県立病院の職員を対象に公立沖縄北部医療センターへの転籍意向調査を行っています。令和３年度と令和４年度は給与等の処遇に関する調査を行っていましたが、令和５年度からは給与以外の転籍条件を中心とした詳細調査しか行っていません。そこで、以下の点について伺います。 ア　令和３、４年度に行った調査における結果として、転籍で重視する条件として給与等の処遇と答えた職員が９割を超えていました。この認識は、市としても北部医療財団としても現在まで変わらないか伺います。 イ　令和５年度の調査でも公立沖縄北部医療センターへの勤務を希望しない・わからないと回答した方のうち給与等の処遇への不安が49.9％と最も多く、県立北部病院に勤務する方のうち77.４％が不安を抱えているという結果となっています。このような結果となった背景をどのように認識しているのか、市の見解を伺います。 ウ　令和６年度の調査において、休暇制度等及び手当等の制度が調査項目となり、回答選択肢には休暇制度や手当、退職金制度などの側面において北部地区医師会病院の水準以上という文言があります。これは、北部地区医師会病院の休暇規定や環境、手当等の支給状況が開示をされた上での回答なのか伺います。また、開示されているのであれば資料の提供をお願いします。	市民部長
	⑵　給与等の処遇について、県職員や北部地区医師会病院職員がそれぞれ所属する労働組合等との話合いは行われているか伺います。	市民部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑶　県立病院の職員給与水準及び北部地区医師会病院の職員給与水準を職種別に伺います。（資料提供）	市民部長
	⑷　北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書第 11 条に基づき、公立沖縄北部医療センターで勤務する財団職員の労働条件は北部地区医師会病院の労働条件を適用することとなっています。これまでの意向調査内容も踏まえて北部地区医師会病院の労働条件を公開すべきと思いますが、市の見解を伺います。	市民部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	19	氏名	多嘉山　侑三	予定時刻	午後１時30分頃
質問方式		一括	○	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
１　台風第13号に伴う長期停電・断水への対応について	⑴　本年８月６日(木)から８月８日(土)にかけて沖縄地方へ接近した台風第13号により名護市では最大5,880戸が停電し、地域によっては48時間以上の長期化停電やそれに伴う断水が発生し、市民生活に深刻な支障が生じました。市当局は８月８日（土）午後１時57分の暴風警報解除に伴い避難所を全面閉鎖しましたが、その翌日の８月９日(日)まで停電が続く地域が多数存在していました。また、週末の市役所閉庁に伴い、連絡や相談の手段を失った市民は「いつ復旧するのかも分からない」という深い不安と孤立感の中で過ごすこととなりました。この対応の課題と検証について、以下の５点を伺います。 ア　暴風警報解除時点で、市内各地域の長期停電・断水の発生状況をリアルタイムで把握していたか。 イ　避難所閉鎖後の８月８日(土)、８月９日（日）において、防災担当職員の配備や住民からの相談を受け付ける窓口体制はどうなっていたか。 ウ　携帯電話の充電切れ等で停電復旧見込み等の情報取得ができなかった高齢者等に対し、沖縄電力との協定に基づく防災行政無線での情報提供を行わなかった理由は何か。 エ　3,500万円かけて整備した防災シャワーを１台も稼働させなかった判断基準と運用上の課題について オ　民間の入浴支援の申出を待つ受動的対応にとどまらず、市から能動的に協力要請を行える体制は整備されていたか。	総務部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
2　市道多野岳線の道路整備と桜の維持管理体制について	⑴　市道多野岳線（延長約 1,000 メートル）では、昨年から今年にかけて道路沿いの排水溝詰まりや土砂崩れが発生しており、その都度緊急的な対応をされてきたと認識していますが、安全確保に向けた今後の恒久的なのり面保護及び排水対策の進捗状況を伺います。	建設部長
	⑵　市道沿いには地域ボランティアにより約 1,000 本もの桜が植樹され、将来的な名所としての期待が高まっています。地元単独での維持管理が困難な中、仲尾次区との市有地占有手続きや「名護さくら開花促進プロジェクト」を通じた広域的な育樹・管理体制の構築について、市の具体的な取組を伺います。	地域経済部長
3　多野岳頂上付近の観光化推進について	⑴　羽地内海や太平洋、名護湾を一望できる多野岳頂上の眺望は、本市の貴重な観光資源です。仲尾次区から要望のある「名護さくら祭り期間中の２日間限定開放」や、山頂付近の駐車場・展望台整備についての見解を伺います。	地域経済部長
4　旧源河小学校跡地の利活用計画と進捗状況について	⑴　旧源河小学校跡地について、平成 25 年の閉校後の名護博物館資料一時保管庫としての利用から令和７年４月の羽地支所への管理移管に至るまでの経緯や、敷地内の旧耐震校舎４棟の現状を踏まえ、以下の点について市当局の見解を伺います。 ア　「公共用地の跡地利活用検討プロセス」における現在の検討及び進捗状況について（資料提供） イ　県道 14 号線歩道整備事業に伴う旧源河幼稚園舎の取壊しや敷地一部の歩道化など、敷地・建物の変更点と今後のスケジュールについて ウ　跡地利用に向けた地元源河区の役員や住民の皆様に対する説明及び意見聴取の見通しについて	地域経済部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
5　下水道含む汚水処理施設整備の進捗状況について	⑴　本市の汚水処理施設整備は、市民生活の環境衛生向上や公共用水域の水質保全のみならず地域振興や企業誘致の基盤としても極めて重要な事業です。令和５年３月に改定された「沖縄汚水再生ちゅら水プラン2023」において、本市の令和８年度末における汚水処理人口普及率の目標は90.7%に設定されています。令和５年３月末時点の79.6%から11.1ポイントの引上げが求められる中、令和６年９月定例会での私の一般質問に対し、市当局からは段階的ベンチマークとして「令和６年度に82.8%」、「令和７年度に85.0%」を目指す旨の答弁がありました。そこで、令和６年度及び令和７年度の整備人口並びに普及率の実績について、以下の５点を伺います(資料提供願います)。 ア　公共下水道事業 イ　特定環境保全公共下水道事業 ウ　農業集落排水事業 エ　合併処理浄化槽 オ　汚水処理施設全体(アからエまでの合計)	環境水道部長
	⑵　目標年度である令和８年度末の整備目標「90.7%」の達成に向けたこれまでの取組と、現在の進捗状況及び今年度末までの着地見通しについて伺います。	環境水道部長
6　公共浄化槽事業の制度設計及び事業計画について	⑴　本市では、公共下水道や農業集落排水の対象外となる屋我地・羽地・二見以北などの地域において、市が維持管理を担う「公共浄化槽事業」の導入を進めています。令和６年９月定例会での私の一般質問に対し、令和６年度は浄化槽の設置基数や種類の把握のための実態調査に取り組み、令和７年度にはＰＦＩ導入可能性調査を予定している旨の答弁がありました。そこで、以下の３点について伺います。 ア　令和７年度に実施予定とされた「ＰＦＩ導入可能性調査」の検証結果や参画事業者の意向、経営コスト試算について	環境水道部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	イ　調査結果を踏まえた公共浄化槽事業の具体的な事業開始時期や整備工程、初年度の目標整備基数について ウ　地域内に立地するホテル・飲食店・事業者等の浄化槽を市管理とする場合の費用負担軽減策の検討状況及び企業誘致に向けた取組について	
7　稲嶺・山田間の幹線農道における交通安全対策の進捗状況について	⑴　令和７年９月定例会の私の一般質問において、稲嶺地区農免農道から羽地中部幹線農道までの区間（国道58号迂回路）で摩耗により中央線の大部分が消失している現状を市当局も認め、「優先順位を検討の上、順次区画線補修を実施する」との答弁がありました。答弁から１年が経過した現在における優先順位の検討結果及び具体的な施工スケジュールについて伺います。	農林水産部長
	⑵　同区間では例年５月と11月に年２回の除草が実施されていますが、雑草の伸びが早く、慢性的に見通しが悪いため通行に支障を来しています。イベント時期に依存した対応だけでなく、年間を通じた効果的な除草作業及び維持管理体制の確立が必要と考えますが、市の方針を伺います。	農林水産部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	20	氏名	岸本　洋平	予定時刻	午後２時40分頃
質問方式		○	一括	一問一答（事項別）	一問一答（要旨別）

質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1	物価高騰対策について	(1)　長引く物価高騰により市民生活は大きな影響を受けています。本市でも支援は行われていますが、今後も国や沖縄県全体の経済対策に連動した新たな物価高騰対策や低所得世帯向けの支援が求められます。生活インフラであったり、どの家庭でも発生する固定費を支援したりすることも重要だと考えますが、今後の取組について伺います。	企画部長
2	学童保育への支援について	(1)　市内の学童保育（放課後児童クラブ）は、ニーズが増す一方で運営面では人手不足の状況もあり、課題を抱えています。現在の待機児童数と今後の市の取組について伺います。	こども家庭部長
3	新たな名護市庁舎の整備と現庁舎について	(1)　庁舎の移転候補地について伺います。また、現建物は日本建築学会賞を受賞し、文化的価値も広く知られています。これまで保存方法や民間活力の利用も検討されてきましたが、利活用に関する具体的な方向性を伺います。	企画部長
4	戸籍の氏名にふりがなを記載する制度について	(1)　令和７年５月26日から戸籍の氏名にふりがなを記載する新制度が始まりました。住民票へのふりがなの記載も順次なされていきますが、本市における取組状況を伺います。	市民部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
5　　市民の声より	⑴　台風時に小中学校を休校とする判断と通知について、連絡が遅いために準備ができないとの市民からの声があります。そこで、現在の対応について伺います。	教育次長
	⑵　名護市社会福祉協議会の大型バスなごみ号が運行終了となり、市民からは費用負担増により地域行事等の実施に影響が出ているとの声があります。そこで、運行終了となった理由、今後の車両確保の予定、代わりとなる車両や移動の支援について伺います。	福祉部長
	⑶　免許を返納された高齢者にとって、乗合型のデマンド交通はこれからますます重要になります。本市の現在の状況と今後の展開について伺います。	建設部参事

第 224 回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	21	氏名	比嘉　拓也	予定時刻	午前 10 時頃
質問方式		○	一括	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨		予定答弁者
1	災害・冠水対策について	⑴	伊差川区の古島・深田原一帯は、大雨になると河川の氾濫により地域一帯が冠水し、住宅も床上浸水し、自動車は何台も使用不能になっている。その被害は、経済面だけでなく精神的な面でも大変なものと思料する。そこで、古島・深田原一帯の床上浸水を防ぐ手だてはないか。また、地域住民と調整して自動車の避難場所の確保と避難通路の整備ができないか、市の考えを伺う。	総務部長 建設部長　※要調整
2	河川整備について	⑴	我部祖河川整備の進捗状況と今後の計画について伺う。また、沖縄県と調整して事業の進捗を早めてもらいたいが、市の考えを伺う。	建設部長
		⑵	喜知留川の改修工事において、これまで問題はなかったか。また、今後の計画と工事を進めるに当たって問題はないか伺う。	建設部長
		⑶	渡名喜橋の架け替えについて、進捗状況と今後の計画について伺う。	建設部長
3	羽地内海の再生について	⑴	羽地内海の環境を再生し、静かな内海を利用した新たな事業が展開できないか、その可能性について伺う。	農林水産部長
4	新たに生じた土地の利活用について	⑴	羽地大川河口付近において、自然に土砂が堆積してできたと思われる土地があるが、調査して有効に活用できないか伺う。	建設部長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
5　介護保険料について	⑴　本市の介護保険料について、保険料が高いので安くしてほしいとの要望があるが、市の考えを伺う。	福祉部長
6　道路整備について	⑴　市道伊差川４号線の整備計画について伺う。	建設部長
7　交通安全対策について	⑴　消えかかった横断歩道や停止線等の白線の引き直しの要望がある。弱視の方は白線がはっきり見えないため、通行に不安があり、怖いとの話も聞いている。市・県・国それぞれが管理する道路において早期改善の要望があるが、市の対応を伺う。	総務部長

第224回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	22	氏名	中村　剛士	予定時刻	午前11時10分頃
質問方式		○	一括	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）
質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨			予定答弁者
1　　地域公共交通について		⑴　各地域で市民の皆様から話を伺う中で、車を運転できない大学生や特に高齢者から「自宅からバス停まで歩くことができない」、「バス停から病院までの距離が遠い」、「買物に行きたいが、車を運転できないため困っている」といった声が聞かれます。そこで、高齢者等の移動手段の拡充について、公共交通の現状や課題、今後の取組について伺います。 ア　現在進められている名護市地域公共交通計画の改定について、その目的や現在の検討状況、今後の取組について伺います。 イ　現在の公共交通体系での路線やバス停の配置だけでは対応が難しい地域もあると考えますが、高齢者の通院や買物における「自宅からバス停まで」、「バス停から目的地まで」の移動について、市はどのような課題として認識しているのか伺います。 ウ　地域ごとの需要や人の流れ等を踏まえ、なご丸のバス停や運行ルート、運行本数などの見直し・拡充について、既存の路線バスやタクシー、介護タクシー、北部地区医師会病院等が運行する病院送迎車など、現在の交通資源との連携も含め、今後どのような公共交通体系を目指していくのか伺います。 エ　ＡＩオンデマンド交通を活用した交通空白・不便地域の解消について、現在の実証運行の取組状況と今後の地域公共交通計画における活用の方向性について伺います。			建設部参事

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	⑵　高齢者の通院や買物等の移動手段を確保するため、南風原町や嘉手納町などで実施されている高齢者を対象としたタクシー利用料金の助成制度について、本市における導入の可能性及び制度設計上の課題について伺います。	福祉部長
2　学校体育館への空調設備について	⑴　近年の夏場の高温化により、学校体育館における児童生徒の熱中症対策に加え、災害時の避難所としての環境整備も重要となっています。国においても学校体育館への空調設備整備を促進するための財政支援が行われていることから、本市における現在の検討状況と今後の整備について伺います。 ア　市内小中学校の体育館における空調設備の整備状況及びこれまで実施してきた現地調査、概算工事費、ランニングコスト等の検討状況について伺います。 イ　学校体育館を災害時の避難所として活用することを踏まえ、整備を進める場合の優先順位及び停電時にも空調設備等を使用できるようにするための非常用電源等の対策について、市の考えを伺います。 ウ　国の財政支援等を活用しながら学校体育館への空調設備整備を進めるため、今後の設計、予算化及び施工に向けてどのようなスケジュールを想定しているのか伺います。	教育次長
3　市立小中学校における英語教育について	⑴　私は、名護の子供たちが将来、世界とつながり、様々な人とコミュニケーションを取ることのできる人材に育つことが大切だと考えています。そこで、英語教育の現状と今後の取組について伺います。 ア　ＡＬＴやＪＴＥなどの英語指導員について、現在の配置状況と今後の配置・活用に関する市の考えを伺います。	教育次長

質　問　の　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
	イ　ＡＩ英語学習アプリ及びオンライン国際交流等を活用した英語教育について、現在の取組状況と今後の方向性について伺います。 ウ　中学生海外短期留学派遣事業の実施状況と今後の継続・拡充に向けた取組について伺います。	
4　産業振興・観光・まちづくりについて	⑴　名護市が有する自然、文化、地域資源等を生かし、観光振興だけでなく地域経済の活性化や新たな産業の創出につなげていくことが重要だと考えます。そこで、本市の取組と今後の方向性について伺います。 ア　映画、ドラマ、ミュージックビデオ、ＣＭ等のロケーション誘致について、現在の取組状況と庁内・関係機関との連携体制及び撮影支援の状況について伺います。 イ　本市における創業・スタートアップ支援の実績と課題、今後の支援体制の強化について伺います。 ウ　本市の自然、文化、農水産物等の地域資源を活用した新たな商品・サービス・観光コンテンツの創出と地域経済への波及効果に係る市の考えを伺います。	地域経済部長

第 224 回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	23	氏名	古波蔵　太		予定時刻	午後１時 30 分頃	
質問方式			一括	○	一問一答 （事項別）		一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
１	市内における毒性植物の実態について	⑴　市内の公園等で見られる毒性植物の種類と本市の安全対策基準について伺います。また、毒性、危険区分を含む植物台帳は整備されているのか伺います。	建設部長
		⑵　21 世紀の森公園少年野球場周辺にはオキナワキョウチクトウが植栽されています。令和４年第 208 回定例会の一般質問において、オキナワキョウチクトウについてはいい面と悪い面のどちらもあるが、状況を少しでも改善できるよう今後どういう手法があるのか検討したいとの答弁がありましたが、その後の状況について伺います。	建設部長
２	市道辺野古豊原線について	⑴　市道辺野古豊原線は国道 329 号を起点とし、市道辺野古坂線を終点とする道路です。令和２年度から令和７年度にかけて、快適な交通環境の確保及び歩行者の安全確保が図られ、地域の生活環境改善及び交通安全確保を目的に整備されましたが、供用開始後の状況を伺います。	建設部長
３	沖縄県知事選挙の結果について	⑴　市議会議員選挙と同日に行われた県知事選挙は、「普天間飛行場の辺野古移設については工事が進んでおり、国と県との裁判も終結している。普天間飛行場の危険性除去の最も早い手段だ」と容認する考えを示していた古謝玄太氏が当選されました。市長の見解を伺います。	市長
４	地域からの要望について	⑴　国道 329 号において、久志区から世冨慶区にかけての歩道に草木が繁茂している箇所があり、地域住民から早期除去の要望がありますが、市の見解を伺います。	建設部長

第 224 回（９月）定例会一般質問通告書　※予定時刻はあくまでも目安です。議会の進行上、早まったり、遅れたりすることがあります。

順番	24	氏名	平　光男	予定時刻	午後２時 40 分頃
質問方式		○	一括	一問一答 （事項別）	一問一答 （要旨別）

質　問　の　事　項		質　　問　　の　　要　　旨	予定答弁者
1	イノシシ被害について	⑴　田んぼ等への被害が出ていますが、具体的・効果的な対策はできませんか。	農林水産部長
		⑵　居住地域（民家）近くにまで親子のイノシシが出没しますが、具体的・効果的な対策はできませんか。	農林水産部長 環境水道部長　※要調整
2	市道羽地大川線について	⑴　市道羽地大川線のタクジトンネル内の照明灯について、不点灯の状況が見受けられますが、具体的な対策はできませんか。	建設部長
3	台風第 13 号の被害状況について	⑴　台風第 13 号の影響による農業被害について伺います。	農林水産部長
		⑵　今後の補償等について、どのように対応していきますか。	農林水産部長
4	仲川地区道路整備について	⑴　適切な維持管理に向け、日頃から倒木の撤去や枝葉の伐採はできませんか。	農林水産部長
5	豊年祭行事について	⑴　各地域で行われている豊年祭に対し、補助金等による支援はできませんか。	地域経済部長